



URL フィルタリングソフト



Technical Guide

InterSafe WebFilter amstune コマンドについて

1. はじめに

本資料は InterSafe WebFilter のマニュアルに記載されていない amstune コマンドの補足説明です。

2. amstune コマンド

amstune コマンドはサーバのチューニングを行うコマンドです。

実行コマンド

`amstune [サーバチューニング]`

サーバのパラメータ表示

```
amstune --status または amstune -s
```

実行した OS に設定がない場合には、パラメータ値は空白で表示されます。

- Linux および Windows で表示されるパラメータが異なります。

表 2-1

カラム	説明
パラメータ名	OS のパラメータ名
パラメータ値	OS のパラメータ値 (範囲指定の場合にはスペースで区切る)

・ Windows 版の出力例

```
MaxUserPort=5000  
TcpTimedWaitDelay=64
```

・ Linux 版の出力例

```
ip_local_port_range=1024 49000  
tcp_fin_timeout=50
```

最適化設定

```
amstune --level original|medium|high|extra または amstune -l original|medium|high|extra
```

サーバのチューニングを行います。チューニングレベルを選択します。

Original : 初回起動時のパラメータ値に戻します。

Medium : 緩やかなパフォーマンス向上を想定したパラメータチューニングを実施します。

High : 高性能なパフォーマンスを想定したパラメータチューニングを実施します。

extra : さらに高性能なパフォーマンスを想定したパラメータチューニングを実施します (Ver8.5 以降の Linux 版のみ対応)

- 「original」を指定した場合は、OS 再起動後に設定が反映されます。
- Windows サーバの場合はコマンド実行後、OS 再起動後に設定が反映されます。

表 2-2 オプション指定時の各パラメータの値

	Windows		Linux		
	MaxUserPort	TcpTimedWaitDelay	ip_local_port_range	tcp_fin_timeout	tcp_tw_reuse
original	OS のデフォルト値		OS のデフォルト値		
medium	35000	100	16384~61000	45	-
high	65534	30	1025~65535	30	-
extra	-	-	1025~65535	30	1